

藤枝市立葉梨西北小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成29年4月18日(火)



4月18日(火)、藤枝市立葉梨西北小学校を訪問し、6年生の皆さんを対象に、土器の分類、黒曜石の試し切り、火起こし等の古代体験の出前授業を行いました。体験を通して昔の人々の暮らしの一端に触れ、古代の人々の生活や歴史に関心をもって、真剣に取り組む姿が見られました。この体験がきっと今後の学習に生かされていくと思います。

◎土器分類体

縄文土器、弥生土器、須恵器(すえき)の3つの時代の土器についての説明を受け、実物の土器片をみんなで分類してみました。それぞれの時代の土器の特徴や違いを見つけて分類に挑戦しました。正しく分類できたかな?



火起こし体験



実際に挑戦してみると、火を起こすことは大変でした。最初は、なかなか火が付きませんでした。みんなで協力し、コツを覚えると、次々と火を起こすことができました。煙が目にしみてつらかったけれど、昔の人々の工夫もいろいろと感ずることができました。火を使うことで、私たち人類は、明るく、暖かく、こわい動物におそわれたりせずにくらすことができるようになったばかりでなく、煮たり焼いたり物をおいしく食べることができるようになりました。



◎石器試し切体験



黒曜石の石器を使って、紙や野菜を切る体験をしました。とても、よく切れたことに驚いていました。また、昔の人々は鋭く尖る石を探し、長野県や伊豆諸島まで出かけて行き石器として使用しています。それが、自然のガラスである黒曜石です。